

救援物資輸送レポート

集荷場所

3月30日（水） 創信工業（株）本社（東京都新宿区高田馬場）

支援物資届け先

4月1日（金） 332-D地区（福島県耶麻郡猪苗代町）

活動概況

3月23日（水）ガバナーよりの「救援物資提供のお願い」を受け、11R3Zで検討した結果、各クラブから物資の提供を受けてから現地に届けるのでは時間がかかるので、各クラブから現金の提供を受け、それで救援物資を購入し、現地に届けることにしました。

3月29日（火）にゾーンの各会長と協議の結果、各クラブからの承認が得られたので、四谷、新宿東、新宿御苑、大江戸、早稲田の各クラブからそれぞれ10万円ずつ、更に早稲田からは30万円追加してもらい、合計80万円を原資に救援物資を購入、届けることになりました。

搬入先は332-D地区（福島県猪苗代町）で、事前にキャビネット幹事のL大河原より不足物資の状況を聞き、大人用紙おむつ、下着、家庭用医薬品、缶詰等の保存食品を調達することになりました。

ゾーン総務のL須藤に購入品リストの作成、購入を担当してもらいました。大人用紙おむつなど、品薄の為に入手に手間取る物もありましたが、3月30日（水）に購入品を全て受け取ることが出来ました。

4月1日（金）にL須藤の会社の2tトラックを借り、物資を載せて猪苗代町に向かいました。ガソリンなどの燃料の調達に不安があったのですが、問題無く入手でき、午前9時30分頃に現地に到着。物資は役場脇の猪苗代町農村改善センターにおりました。ここは救援物資の受け入れ場所になっているらしく、他のところからの物資も積んでありましたが、それらは宅配便などを使って運び込まれており、直接物資を運んできたのは我々が初めてとのことでした。332-D地区ガバナーのL山口、キャビネット幹事のL大河原、副町長の鈴木さんからも感謝の言葉を頂き、無事に役目を終えることが出来ました。

今回は、必要とされている物資を現地に確認し、直接届けることで適切、且つ、迅速な対応が出来たと考えております。しかし、原発の状況も予断を許さず、これからも支援が必要な状況は暫く続くと思われますので、今後更なる支援活動についても検討しているところです。

最後に、御協力頂きました11R3Z各クラブの皆様、受入の窓口としてご尽力頂いた332-D地区キャビネット幹事のL大河原、並びに物資の購入、搬送等に多大なるご尽力を頂いたゾーン総務のL須藤に改めてお礼申し上げます。

レポート：11R3Zチェアパーソン 坂本 道昭（東京早稲田LC）

救援物資の内訳と購入金額

* 大人用下着

男性用	下	S	5,000円	上	S	5,000円	
		M	35,000円		M	35,000円	
		L	35,000円		L	35,000円	
							計 150,000円
女性用	下	S	25,000円	上	S	25,000円	
		M	25,000円		M	25,000円	
		L	25,000円		L	25,000円	
							計 150,000円

* 大人用オムツ (テープ式)	S	20,000円	大パッド	15,000円	
	M	25,000円	小パッド	15,000円	
	L	25,000円			
					計 100,000円

* 薬	ロキソニン	50,000円	
	バファリン	50,000円	
	パブロンエース	100,000円	
			計 200,000円

* 魚肉ソーセージ		計 100,000円
-----------	--	------------

* 缶詰	鯖の味噌煮など 5 種	各20,000円	計 100,000円
------	-------------	----------	------------

合計 800,000円

救援物資搬送レポート

4月1日（金）332 - D地区（福島県猪苗代町）へ搬送



・心配された燃料も問題なく入手出来た。



・午前9時30分頃現地に到着。



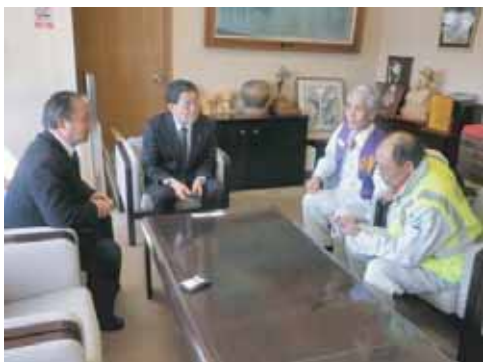
・皆と一緒に荷下ろし開始。



・各地から数多くの支援物資が送られて来ていた。



・我々が運んだ支援物資。



・副町長、地区ガバナー、キャビネット幹事との懇談。
直接物資を持ち込んだのは我々が初めてとのこと。



・役場銅像前で記念撮影。
皆様お疲れ様でした！